

愛知医科大学加齢医科学研究所で病理解剖あるいは病理診断をうけた患者さんのご家族へ

本学では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	タウオパチーにおけるタウ異常蓄積機構の解明（共同研究）
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学医学部 医学部長 笠井謙次
研究責任者	(所属) 加齢医科学研究所 (職名) 特命研究教授 (氏名) 吉田眞理
研究の対象となる方	愛知医科大学加齢医科学研究所ブレインリソースセンターに登録保存され、進行性核上性麻痺あるいは非神経疾患と病理診断された患者さん
研究期間	研究実施承認日 ~ 2025年5月31日
研究目的及び利用方法	〔研究目的〕 タウオパチー(進行性核上性麻痺)の病態解析および疾患脳を用いた細胞モデルや動物実験モデル作製と化合物の薬効評価・作用機序解明を目的としています。 〔利用方法〕 凍結脳を生化学的に解析して蛋白質の性質を解明し、遺伝子改変動物や野生型動物に接種して変化を評価します。培養細胞などを用いて治療候補薬剤の効果を評価します。 〔外部への試料・情報の提供〕 試料・情報は個人が特定できないようにし、郵送、電子的配信等により共同研究期間へ提供します。 〔外部への提供開始日〕 研究実施承認後
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：凍結脳 情報：剖検時に得られた臨床情報（臨床診断および罹病期間等）病理診断等
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	非該当
試料・情報を利用する学外の者	公益財団法人東京都医学総合研究 認知症プロジェクト・長谷川成人 田辺三菱製薬会社創薬本部神経科学創薬ユニット ユニット長・奥山昌弘
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、電話または郵送により下記問い合わせ先まで申し出てください。

外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学加齢医科学研究所 担当者：特命研究教授 吉田眞理 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 12091)